

まちなかの暑さ対策について

国土交通省 都市局
都市環境課

令和7年1月9日

都市に取組が求められる3つの視点

①気候変動への対応



緑地による冷涼空間の形成 エネルギーの面的利用のイメージ

②生物多様性の確保



生息・生育空間の保全・再生・創出

③Well-beingの向上



緑陰のある
居心地の良い歩行空間 環境教育の場

4つの重点取組テーマ

緑とオープンスペースの確保による 良好な都市環境の形成

改正都市緑地法に基づく緑地の保全や緑化の推進、都市公園の整備を含むグリーンインフラの社会実装等を進め、CO2吸収、生物の生息・生育空間の確保、健康増進等を推進

街区単位での取組支援

エネルギー密度の高いエリアにおいて、再エネ化等の取組を集中的に支援するなど、エネルギーの面的利用を推進し、エネルギー利用を効率化

都市構造の変革の促進

コンパクト・プラス・ネットワークや都市機能の集約による公共交通の利用促進等により、CO2排出量の削減等を推進

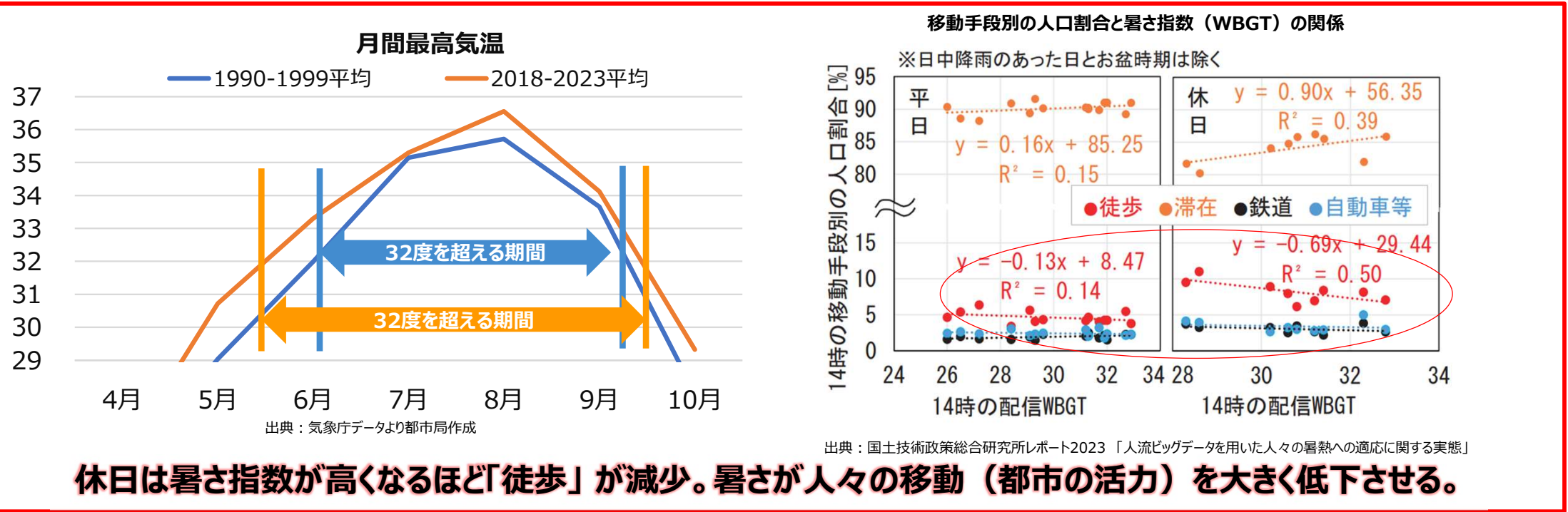


猛暑の中でも安全・快適に暮らせる都市環境の形成

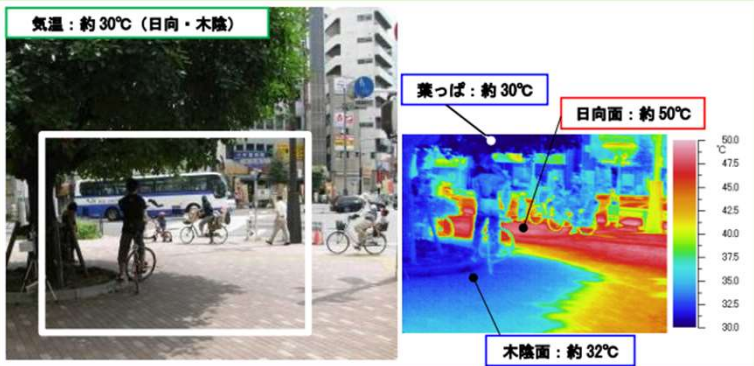
暑熱対策に官・民で取り組む地域に対して、まちなかでのクールスポットの創出に係る先進的な取組等を重点的に支援

まちなかの暑さ対策の必要性

年間平均気温が上昇。猛暑日・酷暑日だけでなく真夏日も増加している状況。猛暑による都市環境の安全性及び快適性の低下を防ぎ、居心地が良く歩きたくなる環境を創出するためには暑熱対策が必要不可欠。



一方、木陰の創出等により、暑さは一定程度は緩和できるものであり、まちづくりとしての対応が求められています。



「まちづくりにおける暑熱対策」に関する各種要望(一部抜粋)

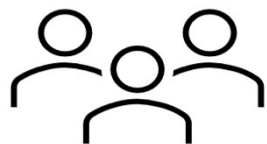
各種団体・自治体から都市局へ暑熱対策の要望が届いています。



全国都市再生
推進協議会

令和6年8月 都市再生の推進に関する要望書【抜粋】

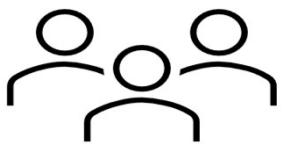
暑い夏でも歩きたくなるまちづくりを推進するため、都市の暑熱対策を強化すること。



宮崎県
知事・市長会・町村会

**令和6年10月 要望書-安心・安全で将来を見据えた持続可能なまちづくりに
向けて-【抜粋】**

暑さをしのぐクールスポットの創出など、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の実現に資する都市環境整備について、予算の重点配分を図ること。



不動産協会

令和6年7月 成長型経済に資するまちづくりを促す政策要望【抜粋】

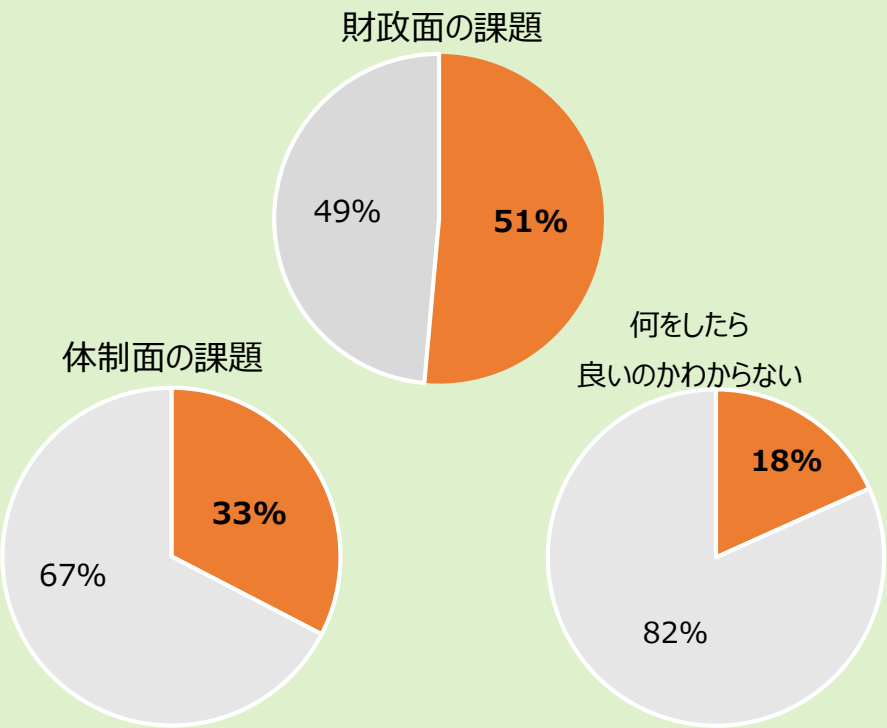
■まちづくりの潮流に合わせたより高度な社会貢献を伴う都市計画の推進
ウォーカブルなまちづくり、CN社会、暑熱対応等を実現する新たなインセンティブ付与に向けた環境整備都市再生特別措置法等の改正も睨んだ都市再生未来ビジョンの検討

暑さ対策へのニーズについて

2024年7月・11月に市区町村向けに「まちづくりにおける暑熱対策」アンケート調査を実施。 ご協力誠にありがとうございました。

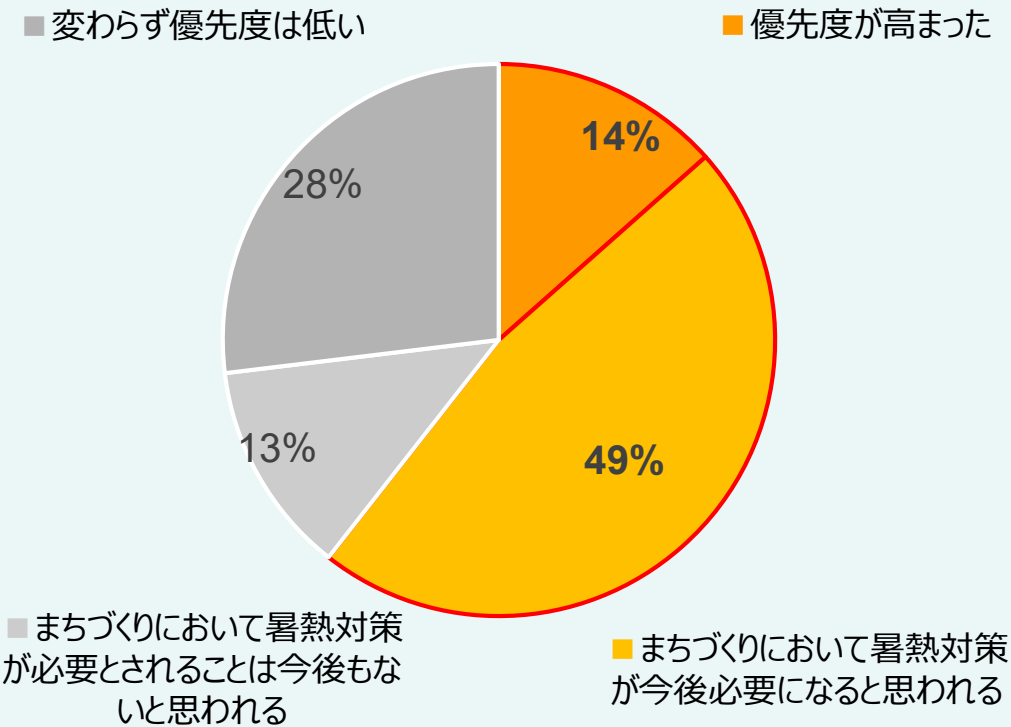
7月のアンケートでは全国で約200自治体が暑さ対策への優先度が高まっていると回答した一方で取り組むにあたっての課題も浮き彫りに。

「まちづくりにおける暑熱対策」に取り組む上での課題（複数回答可）



まちづくりにおける暑熱対策への重要度が低い、又は優先度が変わらないと答えた自治体に対し、同年11月に追加アンケートを実施。

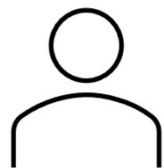
2024年の記録的猛暑を受けて、まちづくりにおける暑熱対策への取組優先度に変化があったか。



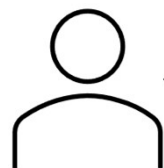
※ 1 : 2024年7月まちづくりにおける暑熱対策への優先度が高まっているか全国の自治体を対象にアンケート調査を実施。（2024年11月時点有効回答数1,252）
※ 2 : 上記アンケートでまちづくりにおける暑熱対策への重要度が低い、又は優先度が変わらないと答えた自治体に対し、同年11月に追加アンケートを実施。（2024年11月時点有効回答数748）

「まちづくりにおける暑熱対策」に関する各種要望(一部抜粋)

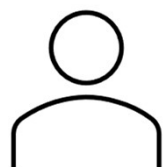
市区町村実務担当者からの声



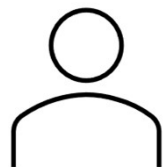
近年の高温化に対応するためには、保健担当課だけではなく町づくり担当課とも協力・連携し、幅広い熱中症対策に取り組む必要があると考えるが、**対策を実施するには財政面及び人手などの体制面の負担が大きい。**



まちづくりでは、特にコロナ禍以降に屋外空間に着目され、ウォーカブルなまちづくりを始めとして屋外空間を活かしたにぎわいづくりなどが進められているが、**酷暑化によって夏場における屋外空間の活用が制限される傾向にあり、まちづくりによる酷暑化対策は必要。**



駅前広場整備と進めている中で、暑さ対策としてミスト設置の**要望があったが、財政面等の課題もあり、実施とはいたっていない。**



官民連携事業に関し、**財政面の課題があることから、進捗が遅れている。**

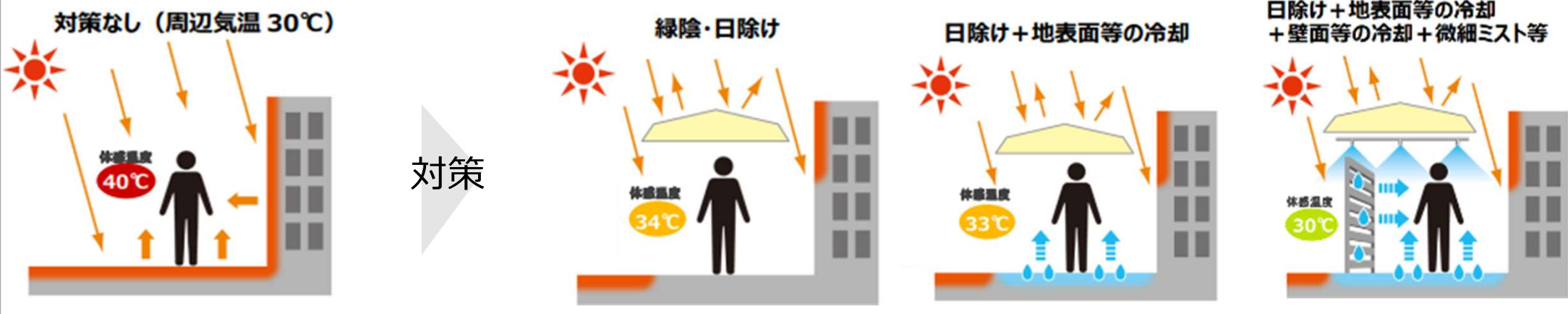
**財政面・体制面・ノウハウ面での課題があるとの
ご意見をアンケートで多数頂戴しました。**

Q:近年の酷暑で暑さ対策の必要性は認識しているが、どのような対策を実施すればいいのかわからない

A

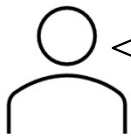
暑熱対策は、直射日光の遮断、路面温度低減、気温低減等の複合的な施策により実感できる涼しさを創出することが重要です。

環境省「まちなかの暑さ対策ガイドライン」より各対策の効果



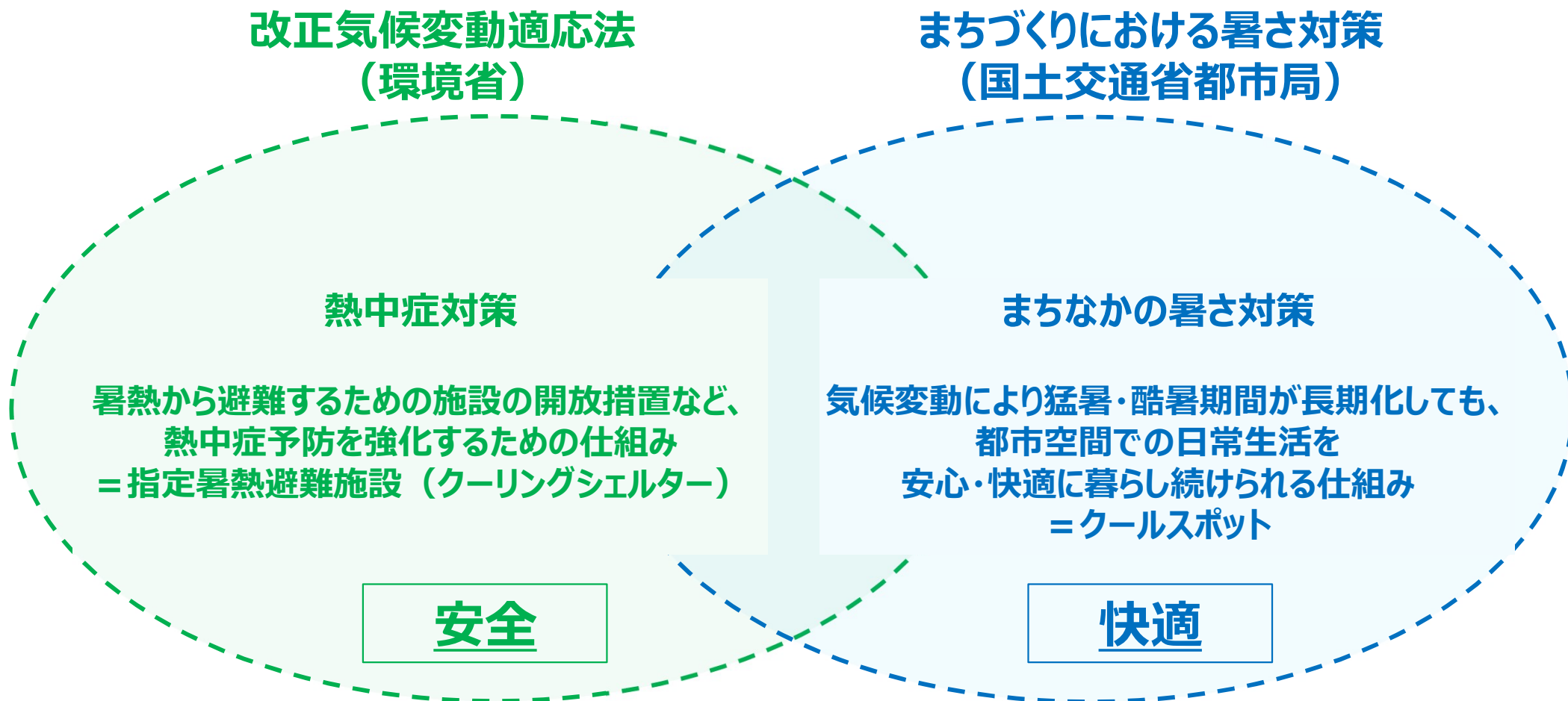
(環境省「まちなかの暑さ対策ガイドライン」より)

→ ひとつの対策を実施するよりも、複合的な対策を実施することで大きな効果が期待できます。



Q:環境部局・保健部局でクーリングシェルトアの運用をはじめています。
まちづくりの暑さ対策との棲み分け・違いは何ですか？

A まちづくりの暑さ対策では、屋外での対策を中心に快適性の維持を目的としています。





Q: 通年使用できる・効果のある暑さ対策を教えてください。

A 暑さ対策に使用でき、夏以外の季節に暑さ対策以外の効果を発揮できる対策は
緑化・シェルター・保水・透水性舗装などがあります。



緑陰（東京都千代田区）



シェルター・日除け（群馬県前橋市）



保水・透水性舗装（兵庫県神戸市）

- ・ 気候変動対策
- ・ 生物多様性の確保
- ・ Well-beingの向上
- + 暑熱対策

- ・ 雨雪対策
- + 暑熱対策

- ・ 街路樹育成環境の向上
- ・ 雨天時の歩行性向上
- ・ 表面流出量の低減
- + 暑熱対策

→ クールスポットの創出は、歩行者や滞在者にとって魅力的なまちづくりにつながります。

Q:暑さ対策をどこで実施すれば良いのか分からない。

A

市域全体的に対策を実施するのではなく、駅前などまちなかウォーカブル推進事業を実施している「まちなか」に線・面的に実施することで複合的な効果が期待できます。



日本では、まちづくりとして暑さ対策をはじめている例は事例が少なく、
これからの創意工夫が求められる分野です。

好事例があれば都市環境課HPでシェアしていきます。
お気軽にお問い合わせください。

国土交通省都市局 暑熱対策サイト

本日の資料及びまちなかの暑熱対策の好事例を掲載していきます！



<https://www.mlit.go.jp/toshi/kankyo/shonetsu.html>